

# 平成31年度・令和元年度 学校評価シート

学校名： 橋本高等学校 学校長名： 小滝 正孝

めざす学校像 育てたい生徒像	個人の尊厳を重んじ、真理と平和を希求する創造性豊かな人間の育成を目指し、生徒の持っている特性を最大限伸ばし、健康な心と体を育て、たくましく生き抜くことのできる力と新しい文化の創造に寄与する力を育成する。
本年度の重点目標 (学校の課題に即し、精選した上で、具体的かつ明確に記入する)	<p>1 授業改善に取り組み、「選択」と「振り返り」を重視した、自ら学び高める力を育む。</p> <p>2 コミュニティスクールとして、地域と連携した活動を積極的に取り入れ、国際理解教育やふるさと教育、E S D等の系統的な学習活動に取り組み、生徒の実践力を向上させる。</p> <p>3 生徒に社会における自らの役割や将来の生き方・在り方について考えさせ、キャリア形成能力を育成する。</p>

中期的な目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の学びの核となる学校としての内容の充実と発信</li> <li>自己の在り方生き方を考え、学び、行動に移す生徒の育成</li> <li>より良い地域社会を目指して、多様な人と協働していく生徒の育成</li> </ul>
学校評価の結果と改善方策の公表の方法	本校ホームページ

達成度	A	十分に達成した。(80%以上)
	B	概ね達成した。(60%以上)
	C	あまり十分でない。(40%以上)
	D	不十分である。(40%未満)

(注) 1 重点目標は3～4つ程度設定し、それらに対応した評価項目を設定する。 2 番号欄には、重点目標の番号を記入する。 3 評価項目に対応した具体的取組と評価指標を設定する。  
 4 年度評価は、年度末(3月)に実施した結果を記載する。 5 学校関係者評価は、自己評価の結果を踏まえて評価を行う。

自 己 評 価							
重点目標			年度評価 (3月31日現在)				
番号	現状と課題	評価項目	具体的取組	評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善方策
1	生徒は、日々の学習に真面目に取り組んでいる。もう一段階伸びようとする意欲や積極性を育むためにも、チームで学習に取り組む生徒集団を作る必要がある。	生徒の主体的で対話的な深い学びが進められる授業改善	「選択」「振り返り」等、主体的で深い学びになる授業改善のための研究授業等に取り組む。 若手教員育成のための研修を実施する。	学習活動の中に、「選択」の要素を取り入れ、「振り返り」の時間を確保し、意欲、学力が向上したか。 若手教員の指導力が向上したか。	授業実践において「選択」「振り返り」を活動に取り入れた学習が行われつつある。 校内若手研修や県教育委員会実施の研修等を通して、若手教員の指導力は、着実に向上している。	A	「選択」「振り返り」の実践事例をもとに、教員間で研究を引き続き重ねていく。 若手教員の研修については、教科・特別活動の指導について充実させていく。
2	地域のボランティア活動等に積極的に参加できている。活動に当たって、企画段階から参画していく機会を多く設ける必要がある。	E S D等のテーマに基づいた地域と連携した活動	地域活動・ボランティア活動に積極的に参加する機会を充実させる。	企画段階からボランティア活動等に取り組み、学習テーマを深めることができたか。	学級・部活動等での呼びかけがありボランティア活動への参加は昨年度と同じく積極的であった。 生徒会のボランティアセンターが有効に機能し始めた。 活動をE S D等のテーマに結びつける意識付けが弱かった。	A	生徒がE S D等のテーマを考えながら活動を展開できるようにする。 さらに生徒のボランティア活動の機会が設けられるように関係機関と連携する。
3	社会に出て働くとはどういうことかについて理解を深め、未来を切り開いていこうとする意欲を育む必要がある。	多様な生き方や仕事を理解した上でキャリア形成能力の形成	キャンパス訪問の実施と外部人材の活用 多様な職業人や研究者、学生等による講演会等の実施	生徒にとって、具体的な進路選択の材料となり、意識の向上につながったか。 幅広い内容の講演会等を実施し、生徒のキャリア形成に結びついたか。	キャンパス訪問で大学での研究を間近で見聞きし、将来の進む方向を考えることができた。 講演会等において社会で活躍されている方の話を聞き、人としての生き方・在り方を考えることができた。	B	事前事後学習も含め、キャンパス訪問の実施方法を工夫し、生徒がさらに主体的に学ぶ意義を考えることができるようにしたい。 引き続き外部人材を活用し、幅広い視野を育む機会をより多く持つ。

学校関係者評価	
令和元年12月～令和2年2月実施	
学校関係者からの意見・要望・評価等	
<ul style="list-style-type: none"> <li>すべての分野で校訓をしっかりと生かしている。今後も、生徒を中心に、先生方ののびのびと指導してほしい。</li> <li>生徒のためにとってもアクティブに実践されている。</li> <li>生徒の活動を見る機会を増やしてもらいたい。</li> <li>生徒の自主的な活動を促す取組や自ら学ぶ姿勢が育まれているなか、その学びを相手に伝える方法に少し課題がある。発表スキルの指導にも力を入れてもらいたい。</li> <li>学校運営協議会の際は自分自身の学びの場ともなっている。日頃の先生方の御指導と熱い想いに感謝している。</li> </ul>	